

英語プレゼンテーションコンテスト Change Maker Awards

東日本ブロック銀賞受賞

2年次生の「総合的な探究の時間」では、探究したことを英語でプレゼンテーションをすることに挑戦しました。11名の生徒が3チームに分かれ、「女性目線の避難所を作る」「学習により集中できる環境を作る～色・音の観点から～」 「英語学習における新しい授業形態の提案～韓国・オランダとの比較から～」といった内容で一年間探究学習を進めてきました。学習のまとめとして、この3チームが中高生のための英語×探究プレゼンコンテスト「Change Maker Awards」に応募しました。

東日本ブロックの書類審査を通過した13チームが動画審査に進み、4分間で学習の成果を英語でプレゼンテーションを行いました。本校から参加の3チームのうち、避難所について探究したチームが動画審査に進み、銀賞を受賞しました。



このチームは「Make Better Shelters -From Women's Perspectives-」と題して女性目線でより快適な避難所を提案しました。いくつかの地方公共団体にアンケート調査をしたり、様々な文献を調べたり、校内で実際に避難所を作ってみたりして、現在の避難所の問題点を指摘し、それを補うものを考え、提案しました。

取り組んだ生徒からは、「Change Maker Awards は世界で問題になっていることを見つめるきっかけになりました。当事者の視点に立って多角的に物事を見ることでより、世界をよりよくできる提案ができたと思います。」「情報を多く集めることが研究を深める上で大切であり、その過程で、メールの送り方などの新しく身につくマナーや技術がありました。」「発信方法が日本語ではなくて英語であることで、より丁寧に、かつ簡潔に伝えようとする必要があるので、”相手に伝える”ことを考え直す良い機会になったと思う。」などといった声がありました。

さまざまな教科で身に付けた知識をもとに、複数の観点から物事を考え、そして、英語で分かりやすく伝えるということに挑戦し続けた実りある一年となりました。